

経済学会・経済学部共催

チューリッヒ大学教授

ファビリッツィオ・ジラボッティ

教授講演会

格差社会では親が厳しい？

-子育てスタイルの経済学- (同時通訳付)

講演内容

心理学で子育てスタイルを専制主義、自由放任主義、権威主義の3つに分ける考えがある。専制主義では親が独裁的に全てを決め、自由放任主義では親は子の自由に任し、権威主義はこの2つのスタイルのバランスを取る中間である。ジラボッティ教授は3つの子育てスタイルがどのような経済条件で出現するか理論予測を行い、人的資本の収益率が高い所得格差の大きい社会では、子がより経済的に成功するように、パターンリズムの強い子育てスタイルが採用されることを示した。さらに世界価値観調査の国際的なデータから理論に整合的な実証結果が得られている。

日 時 12月24日(木) 午後4:30～6:00

場 所 三田キャンパス北館ホール

司 会 大垣昌夫君

この講演は主として義塾経済学部学生のための企画ですが、大学院生及び他学部生の方も聴講できます。

Fabrizio Zilibotti 教授 略歴

1994年	ポンペウ・ファブラ大学助教授	1997年～1999年	同 大学准教授
1999年	ストックホルム大学准教授	2001年～2006年	同 大学教授
2006年～	チューリッヒ大学教授		

主要論文

Matthias Doepke and Fabrizio Zilibotti, 2014. "Parenting with Style: Altruism and Paternalism in Intergenerational Preference Transmission." *NBER Working Paper* 2014.

Song, Zheng, Kjetil Storesletten, and Fabrizio Zilibotti. 2011. "Growing Like China." *American Economic Review*, 101(1): 196–233.

Matthias Doepke and Fabrizio Zilibotti, 2008. "Occupational Choice and the Spirit of Capitalism," *The Quarterly Journal of Economics*, vol. 123(2): 747–793.